

(別紙様式)

令和4年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立首里高等学校
記載者名	安仁屋 宗一郎

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	2	1	77	7	0	88

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	50	0				55

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	413	942	0				1355

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 令和3年度の学校評価を踏まえ、令和4年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①部活動の活動時間・活動日の再確認
②PTAとの連携、学校情報・進路情報の伝達の再確認
③新校舎建設に伴う学習環境の整備
④教職員の長時間労働に関すること(部活動、講座等)
⑤学校評価の項目

6 令和4年度の学校評価で明らかになった課題

①部活動の活動時間等の徹底
②PTAとの連携、学校情報・進路情報の伝達
③新校舎建設に伴う学習環境の整備
④教職員の長時間労働に関すること(部活動、講座等)
⑤新型コロナウイルス禍における行事の持ち方

7 令和4年度の学校評価を活かした令和5年度の改善点

①部活動の活動時間等を守ることを徹底し、家庭学習の時間を確保し、学習と両立を図る。
②PTAとの連携をさらに深め、学校情報・進路情報の伝達の充実を図る。
③新運動場建設に伴う学習環境の整備を図る。工事の騒音なども調整をさらに図る。
④教職員の長時間労働の減少を目指す。(部活動の練習への対応、講座等の持ち方について)
⑤新型コロナウイルスの影響を受けた持ち方から、従来の行事などへ良い点を戻していく。